

3 建 第 185 号
令和3年 4月 9日

内閣総理大臣 殿

大玉村長 押山 利一

道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業計画の実績に関する評価について

道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業計画について、福島再生加速化交付金（道路等側溝堆積物撤去・処理支援）実施要綱第11の3の規定に基づき、別添のとおり実績に関する評価を報告します。

(別添)

【道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業計画の実績に関する評価様式】

【計画名称】 大玉村 道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業計画			
【計画策定主体】 大玉村			
【事業番号】 A-1-1			
【事業名】 道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業			
【事業費】 116,409千円			
【事業期間】 令和元年5月 ～ 令和3年1月			
【事業目的・事業地区】			
(事業目的)			
本事業は、以下の地区において、東京電力福島第一原子力発電所の事故後、住民等による通常の道路等側溝の維持管理活動が中断していることから、環境省の放射線低減対策特別緊急事業費補助金の除染事業が行われている箇所を除き、道路等側溝堆積物の撤去処理を実施することにより、住民等による通常の道路等側溝の維持管理活動を再開し、原子力災害からの復興・再生を加速化させることを目的とする。			
(事業地区)			
大山地区、玉井地区 (詳細は別紙1参照)			
【事業結果】			
(撤去状況)			
以下のとおり、道路等側溝堆積物の撤去・処理を実施した。(詳細は別紙2参照)			
	A-1-1	◆A-1-1-1	計
撤去延長 (km)	16.5km	-km	16.5km
撤去土量 (m ³)	766.5m ³	-m ³	766.5m ³
(維持管理活動の再開状況)			
堆積物を撤去後、通常の維持管理活動の再開が可能となった旨を各地区に周知し、中断していた住民等による維持管理活動が再開された。(詳細は別紙3参照)			
【道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業計画の実績に関する評価】			
(道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業計画の有用性、経済性)			
東京電力福島第一原子力発電所の事故後、従前行われていた住民等による道路等側溝の清掃活動が、側溝堆積物に放射性物質を含んでいること等を理由に中断されていたが、本計画の実施によって当該堆積物が撤去・処理され、住民等による道路等側溝の清掃活動が再開した。このように、本計画の実施により、東京電力福島第一原子力発電所の事故前の通常の状況に戻ることができたことから、本計画は有効であったと考える。 また、事業の実施について、事業費の設計・積算に当たっては、福島県土木工事標準積			

算基準等により執行し、大玉村財務規則等に基づき入札を実施するなど、適正なコストであり、本計画の実施における事業費は、妥当であると考えている。

(評価)

本計画の実施により、東京電力福島第一原子力発電所の事故後に中断していた、住民等による道路等側溝の清掃活動が再開したことから、目的を十分達成したものと評価できる。

【評価の透明性、客観性、公正性を確保するための取組】

除染関連の担当課である再生復興課など、事業担当以外も含めて、本事業計画の評価を合議制により実施した。

【事業担当部局】 産業建設部建設課 電話番号 0243-24-8113

事業実施前後の写真

(1) 大山地区



(2) 玉井地区



(別紙3)

維持管理活動の再開

- (1) 大山地区 (再開日 : 令和2年3月29日)
- (2) 玉井地区 (再開日 : 令和3年3月28日)

○住民による維持活動の再開状況

玉井地区

